

平成 24 年 7 月の実習報告 (2)

7 月は実習生が多かったので、3 回に分けて掲載します。

【13】

期間：7 月 4 日～10 日 (5 日間) 西荻図書館

学校：西宮中学校 2 年生 2 名

内容：本の配架、書架整理、お話会、壁面の飾り制作など

感想：

図書館という仕事は、あまり動かない仕事という印象がありました。なぜなら、カウンターにすわって貸出、返却をするところしか見てなかったからです。しかし、今回職場体験をしてみて、まったく違うことがわかりました。本の配架整理は、土曜日は特に本の返却が多くて、やっと終わったと思うと新しいものがどんどん来て休むひまがないと思ってしまうほど、たいへんでした。

しかし、図書館の仕事はたいへんなものだけではありませんでした。なぜなら、保存書庫には今まで見たこともない動く本棚があったり、水曜日と土曜日にはおはなし会というものがあるからです。

おはなし会を体験してみると子供向けの本で短いものを選ぶのはとても苦労しました。そして、本番に子どもたちの前でやる時はとても緊張したし、楽しんでもらえなかったらどうしようなどという不安な気持ちもありました。しかし、おはなし会が終わった後、とても明るい気持ちになれたような気がしました。

このように図書館には、とても大変な仕事がある一方、とてもおもしろい仕事もあることがわかりました。今回の職場体験で嫌というもの一つもなく、すべて楽しかったです。

おすすめの本

「謎のメールレストラン」松谷みよ子ほか / 作 童心社

この本のタイトル「怪談レストラン」はその名のとおり、怪談話を聞くレストランのようなものです。目次にレストランのメニューがあるので、そこから自分の好きな品（話）を選んで読むもよし、順に読むもよしの、読み方に様々な種類がある本です。この本の中でもぼくは死神メールというのがとても怖い話だな～と思いました。

恐怖が好きな人はぜひ読んでみてください。

「デルトラ・クエスト 4巻 うごめく砂」エミリー・ロッド/作 岡田好恵/訳 岩崎書店

この本のタイトルとなっている「デルトラクエスト」はいろいろなシリーズがあるのですが、今回はこの「うごめく砂」を紹介します。題名の通り、「うごめく砂」は砂が動くというのといっしょです。この話で、砂から出てきた敵を主人公が仲間と共に倒すところが見ものだと思います。

「サマーウォーズ」細田守/原作 岩井恭平/著 角川書店

サマーウォーズという物語は、OZというインターネットの世界で起きた事件が現実世界に大きな影響を与える、その事件を止めるために小磯健二と篠原夏希、そして親戚一同が立ち上がるというものです。

この物語では、篠原夏希のゆかいな親戚一同にかくされた秘密にドキドキし、小磯健二のある行動の理由や、篠原夏希にいたく思いにキュンキュンします。

「ルドルフとイッパイアッテナ」斉藤洋/作 講談社

ルドルフとイッパイアッテナという物語は、猫どうしの物語です。

「おまえ、名まえはなんていうんだ」「ぼくはルドルフだ。あんたは？」「おれか、おれの名まえはいっぱいあってな」「え！『イッパイアッテナ』という名まえなのかい」

この本は、こうしたおもしろい場面や、イッパイアッテナが犬におそわれてルドルフは時間がないのに、かたきをとるために強い犬にたちむかう『友情』や『勇気』について書かれています。

特にオススメの場面は、ルドルフがデビルという犬と戦うところです。次になにがおこるのかまったくわからないところがすごくおもしろいです。

【14】

期間：7月4日～10日（5日間） 高井戸図書館

学校：西宮中学校 2 年生 3 名

内容：返却本戻し、本の修理、予約本探し、新刊の受入、雑誌の装備・受入、
ブッカーかけ、団体本の返却など

【15】

期間：平成 24 年 7 月 5 日～11 日 成田図書館

学校：東田中学校 2 年生 2 名

内容：本の配架、書架整理、予約本探し、リサイクル本処理、おすすめ本の
選本と POP 作成、お話し会

感想：

杉並の図書館の本はきれいで種類が多い

おすすめの本：

「モヤシ」椎名誠 / 著 講談社

主人公(椎名さん)のモヤシに対する気持ちがリアルに表現されていて、オ
モシロかったです。一つ一つの文に例がのっていてとても読みやすいし理解
しやすかったです。

「13 歳のハローワーク」村上龍 / 著 幻冬舎

この本は将来の自分がどのような仕事に向いているかを考えられる内容で
す。13 歳前後の人におすすめです。



東田中の実習生が作成したPOP（場所：成田図書館）

【16】

期間：平成24年7月9日～13日 永福図書館

学校：松ノ木中学校2年生 2名

内容：書架整理・本の配架・お話会・返却作業など

感想：

私は今回の職場体験は正直不安でした。けれど、図書館内の方々が優しく教えて下さったり、作業を手伝って頂いたりして、なんとか5日間の職場体験を無事に終えることができました。

私は普段図書館を使っている「使用者」としての立場だったので、その立場ではわからない事が今回の体験で理解する事が出来ました。5日間有難うございました。

とてもつかれる仕事でしたが、やっていてとてもたのしかったです。私は、図書館の仕事はどんなことをするのか分からなかったのですが、そのことについて分かって、とてもよかったです。また、こんな仕事をしたいです。

質問！「杉並の図書館について、どう思いますか？」:

キレイに並んでいて、とても良い所だと思います。

おすすめの本

「怪盗紳士（シリーズ怪盗ルパン第1巻）」

ルブラン / 原作 南洋一郎 / 文 ポプラ社

この物語では、ルパンが捕まったり逃走したり・・・色々な事件を巻き起こす短編集です。私の一番オススメの作品は「ぼくの少年時代（王妃の首かざり）」です。この作品では、ルパンが一番最初に起こした事件が描かれています。きっとルパンに対する見方が全く違ってくると思うし、謎に包まれた少年時代が暴かれるので是非読んでみて下さい！

「ルパンの名探偵（シリーズ怪盗ルパン第16巻）」

ルブラン / 原作 南洋一郎 / 文 ポプラ社

「怪盗」ということで知られるアルセーヌ・ルパンが「名探偵ジム・バーネット」として活躍する物語です。ルパンはいつも“あっ”と言わせる事を成し遂げます。この物語では怪盗としてではなく、探偵としての目線で物語が書いてあるのでホームズファンの方も楽しめる作品だと思うので是非読んでみて下さい。

「涼宮ハルヒの消失」谷川流（ながる） / 著 角川書店

この小説を見る前に、「涼宮ハルヒの憂鬱」を見ると、さらに内容が分かります。この本は、涼宮ハルヒシリーズの第4巻です。ハルヒが消えてしまったキョンの高校生生活は、どうなってしまうのでしょうか？そして、ハルヒはどこに消えたのでしょうか？本を見て、確かめてみて下さい。